

第2章

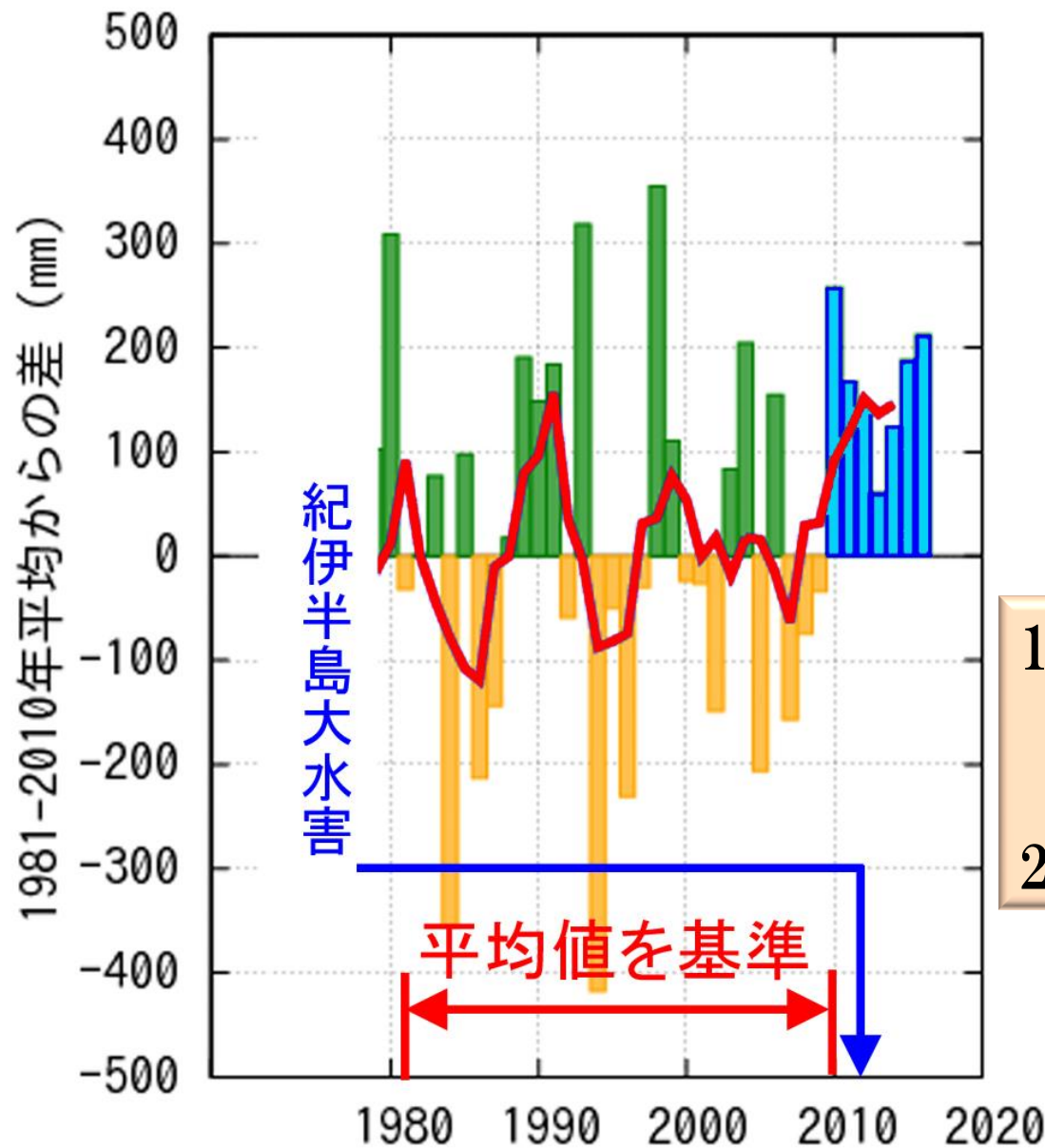
最近の日本の気候

総雨量(72時間) **2000mm**時代に突入
= 日本気象協会 =

洪水は地形と気候が原因となって発生

日本の降水量の傾向

(気象庁のデータより作成)



2010年以前の30年間の平均降水量を基準(0)としたグラフ

1. 2011年以降は、過去30年間の平均降水量を**毎年**超えている。
2. 近年降水量は**増加傾向**。

2011年9月 「紀伊半島大水害」

～それをキツカケ



総雨量(72時間) **2000mm**時代到来

2011年 紀伊半島大水害における犠牲者数

地域	死者	行方不明	合計
全国	73	19	92
奈良県合計	14	10	24
五条市	7	4	11
天川村	1	-	1
十津川村	6	6	12

被害は、**家屋の流出及び土砂災害**による。

紀伊半島大水害（2011年9月）時の降雨量

地域		降雨量
上北山村	奈良県	1652.5 mm/72時間
宮川	三重県	1519.0 mm/72時間
風屋	奈良県	1303.0 mm/72時間

十津川村、大台ヶ原における解析雨量は2000mm/72時間

総雨量2000mm/72時間は場所を問わず、
もはや想定外とは言えない、と警告。
＝日本気象協会＝

まとめ

(第2章)

1. (一社)日本気象協会が、総雨量2000mm時代の警告を発したキッカケは、紀伊半島大水害。
2. 同警告の対象地域は日本全域。
3. 今後の水害対策では、総雨量2000mm時代を想定することが必要。

～講演者の私見～